

ルポ
0.

謎のリヤカー、あらわる

大田区蓮沼駅近くの「気まぐれ八百屋だんだん」(以下、だんだん)。その店先に突如あらわれた用途不明のリヤカーが注目を集めている。

近隣住民からの情報によると、「だんだん」の店先に謎のリヤカーが置かれるようになったのは2020年9月頃から。荷台に野菜を並べ販売していることもあれば、イベントの看板立てになったり、単なる物置きとして使われたり。用途は限定されていないようだ。

また、「Tシャツに『探検中』と書かれた男性が、リヤカーを引きながら周辺を練り歩いていた」「公園で黙々とリヤカーを撫でまわしている人がいた」等、奇妙な目撃情報もある。

そのリヤカーは一体なんなのか。そして奇妙な噂は本当なのか。謎に包まれたリヤカーを追ってみた。

【1へ続く】

●特集紀行——ルポ・蓮沼
～運び運ばれ湯けむり紀行～
☆記録資料——町にでるんば
やすりがけるんば
アイデアをのせるんば

でるんば

通信

2020年度

TURN LAND 気まぐれ八百屋だんだん 2020年度 活動記録

TURNとは、障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの背景や習慣の違いを超えた多様な人々の出会いによる相互作用を、表現として生み出すアートプロジェクトです。
東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、NPO法人 Art's Embrace、国立大学法人東京芸術大学が主催するアートプロジェクトとして、「違い」を超えた出会いで表現を生み出す」をテーマに掲げ、東京都内を中心に福祉施設やコミュニティとアーティストが共働するプロジェクトを数多く行っています。
気まぐれ八百屋だんだんは、2017年度からTURN LAND*の活動をスタートし、「おとな図鑑」や「だんだん HEKIGA プロジェクト」など、だんだん代表の近藤博子さんと学生メンバーと一緒に活動を行ってきました。2019年度から芸術探検家の野口竜平さんが加わり、「町にでるんば」を展開中です。

*TURN LANDは、福祉施設や団体がアーティストとともに参加型のプログラムを企画し、TURNを日常的に実践する場をつくるプロジェクト。



▲リヤカー(でるんば号)。どうやら手つくりのものらしい。(町にでるんば) 記録写真より

「気まぐれ八百屋だんだん」

JR蒲田駅から東急池上線に乗り換えて一駅、蓮沼駅に降り立つ。改札を出てバス通りを左折し徒歩2分。右に入る路地の植木鉢の脇に、ひときわ目を引くものがあった。間違ったカラフルな謎の物体。間違いない、これが噂のリヤカーである。

角材をジャングルジム状に組み上げた縦長の構造体の底に、小型タイヤを装着したような不思議な物体。

私がイメージするリヤカーの形とは程遠いが、並行して取り付けられた2つの車輪、持ち手の形状などを考えると、やはりリヤカーとしか呼ぶようがない。青、黄、ピンクなどのカラフルなペンキで塗装されており、子供たちが描いたであろう背景の壁画との相性もよく、華やかといえは華やかだ。

おそらく、この壁画の描かれた建物こそが、謎のリヤカーの所有者、「気まぐれ八百屋だんだん」である。

料理を作っているのか、開け放たれた入り口から食欲をそそる香りが漂っており、賑やかな話し声が聞こえてくる。

室内を覗き、リヤカーの話を知りたいかと声をかけてみたが、「今忙しいからちょっと待ってて」とのこと。

おそらく今のエプロンとバンドナ姿のエネルギッシュな女性が、だんだんの代表・近藤博子さんだろう。深刺としたパワーでこの場所を切り盛りしているのだ。近藤さんが落ち着くまで、外のベンチで座って待つことに



▲だんだんの主、近藤さん (町にでるんば) 記録写真より

1. ルポ

した。どうやら今日は「お弁当の日」のようだ。だんだんのキッチンで、近藤さんやボランティアの方々がお弁当をお弁当をつくらせている。事前の調査によると、「だんだん」のことも食堂は今年で9年目。

昔からよく訪れていた子供たちもいつの間にか成人し、今ではだんだんの運営を支えるボランティアをしている人もいます。すごい話である。

休憩で外に出てきたボランティアの女性に話を聞くと、コロナによる社会の変化で、これまでのようにみんなで集まって食べることが難しくなってしまった代わりに、栄養たっぷりのお弁当をつくり、子供たちにワンコインで配っているらしい。

お昼になると、子供たちが次々とやってきてお弁当を受け取っていく。近藤さんはもちろん、ボランティアのメンバーも訪れる子供たちをこよなく知っているように、親しそうに声をかけている。

私もいつの間にか、子供たちにお弁当を渡す作業を手伝っていた。元気な子、恥ずかしがりの子、礼儀正しい子。入れ替わり、立ち替わり、30人はきたらどうか。

このワンコイン弁当、お弁当を買ったお札にコインを貯金箱に入れるというシステムなのだが、観察していると、どうやら子供は100円玉からゲームセンターのメダルまで、コインならなんでも構わないよう。驚いた。

【2面2へ続く】

でるんば通信とは……TURN LAND(町にでるんば)の実施記録や、それにまつわるストーリーをまとめた新聞です。

